

1 本市の耕作放棄地について

1. 荒廃農地の推移について

年 度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
農地面積 (ha) a	5,785	5,716	5,618
A分類 (ha) b	295	299	259
うち新規 (ha) c	67	63	19
B分類 (ha) d	222	194	228
荒廃農地 (ha) e (b+d)	517	493	487
非農地判断 (ha)	61	68	30
転用 (ha)	8	30	12
荒廃農地率 (%) e/a	8.9	8.6	8.6
荒廃農地解消面積 (ha)	13 (田2・畑11)	9(田4・畑5)	12(田2・畑10)
荒廃農地解消筆数(筆)	133(田30・畑103)	97(田40・畑57)	124(田26・畑98)

- 農地利用状況調査** 農業委員会は、毎年1回地域内の全農地の利用状況を調査し、荒廃農地を把握し、その所有者に「利用意向調査」を行わなければならない。(農地法第32条)
- 荒廃農地** ススキやササなどの多年生雑草や、低木が繁茂し、農家が保有しているトラクターや耕運機を利用した通常の農作業だけでは耕作できない土地
- A分類** 伐根、整地などにより、通常の農作業による耕作が可能となると見込まれる荒廃農地
- B分類** 森林の様相を呈しているなど農地に復元するために物理的な条件整備が著しく困難なもの、又は周囲の状況からみて、その土地を農地として復元しても継続して利用することができないと見込まれるものに相当する荒廃農地
- 非農地判断** 荒廃農地 B分類が2年以上続いて、周囲の状況から、農地に復元することが難しい農地について、農業委員会総会において農地に該当しない旨の判断を行ったもの。

2. 荒廃農地の発生防止・解消対策について

(1) 農地の利用状況調査と意向調査の実施

農業委員と推進委員が連携し、農地の利用状況調査と農地の利用意向調査の実施について協議検討し調査の徹底を図る。

(2) 非農地判断について

農地の利用状況調査により、区分された荒廃農地については、現況に応じて速やかに「非農地判断」を行い、守るべき農地と再生利用困難な土地とを明確にし、それぞれに応じた処置を行う。

(3) 担い手発掘・育成及び農地利用の集積・集約化

認定農業者等を地域の中心となる経営体と位置付け、人材の発掘や育成及び実現可能な農地利用の集積、集約化計画を進める。

(4) 新規参入の促進

関係機関と連携を図りながら、新規就農希望者に対する就農相談や営農の定着と集積ができるよう適切な農地の斡旋を行う。

2 営農型太陽光発電について

営農型太陽光発電は、太陽光を農業生産と発電とで共有する取り組みです。作物の販売収入に加え、売電による収入などにより、農業者の収入拡大による農業経営のさらなる規模拡大や、6次産業の推進が期待できます。

■かすみがうら市の営農型太陽光発電の許可状況

番号	許可日	地区	作付作物	面積	発電出力	生産状況（令和元年度）
1	平成28年9月12日	志士庫地区	きくらげ／かぼちゃ	9,372㎡	495kw	<p>■きくらげ 地域10aあたりの単収7,637kgに対し12,318kgの収穫である。</p> <p>■かぼちゃ 昨年の大雨等によりうどん粉病が入り少量(37kg)の出荷のみであった。</p>
2	平成29年1月10日	新治地区	シャインマスカット	10,908㎡	319kw	<p>■出荷には5～6年程の時間が必要であると見込まれている。今は地植えから約3年が経過している。現在出荷可能な段階ではないことから、適正な圃場管理を行い幹・枝等の育成に重点を置いて育成している。</p>
3	平成29年1月10日	志士庫地区	明日葉／里芋／大麦若葉	22,201㎡	1,500kw	<p>■明日葉 茨城県の標準単収10a あたり3,950kgに対し2,295kgの収穫である。</p> <p>■里芋 茨城県の標準単収10a あたり1,170kgに対し900kgの収穫である。</p> <p>■大麦若葉 茨城県の標準単収10a あたり1,253kgに対し694kgの収穫である。</p>
4	平成29年1月10日			22,671㎡	1,500kw	
5	平成29年12月10日	深谷地区	さかき	13,729㎡	880kw	<p>■育成中。 適正な圃場の適正管理を行っている。（圃場の除草等）</p>
6	令和元年7月10日	志筑地区	みょうが	1,248㎡	49.5kw	<p>■未施工。</p>
7	令和元年7月10日			1,864㎡	49.5kw	
8	令和元年12月10日	新治地区	ブルーベリー	1,440㎡	49.5kw	<p>■育成中。 適正な圃場の適正管理を行っている。（圃場の除草等）</p>

■ 営農型太陽光発電施設の現地状況（参考）

■ 番号2番 新治地区 営農型太陽光発電施設（作付作物：シャインマスカット）



■ 番号3・4番 志土庫地区 営農型太陽光発電施設（作付作物：明日葉）

